

MATRIX

T-DPT



重要な基本的注意

取扱説明書は保管しておいてください

- ・次の事項をはじめて、基本的事項を守ってトレッドミルをご使用ください。トレッドミルを使用する前に取扱説明書をお読みください。
- ・施設運営者は責任をもつて、トレッドミルの使用者全員にすべての警告と注意事項を十分に知らせておいてください。
- ・この製品は業務用施設での利用を目的としています。安全を確保し器具を大事に使っていただけるよう、使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

警告

けがのリスクを軽減するため以下の内容に注意してください。

- ・不適切または過剰な運動は、けがの原因となります。胸の痛み、吐き気、あまい息切れ等を感じたときは、ただちに運動を止め、運動を再開する前に主治医にご相談ください。
- ・運動中は常に適度なペースを維持してください。
- ・トレッドミルの部品に巻き込まれる可能性のある服は避けしてください。
- ・この器具を使用する際は必ず運動用シユーズを着用してください。
- ・緊急でベルトから離れるには、正面または側面のハンドルバーを掴み、両足でサイドレールの上に乗ってください。
- ・トレッドミルの上で飛び跳ねないでください。
- ・作動中は、絶対に複数の人でトレッドミルを使用しないようにしてください。
- ・「取扱説明書」の仕様部分で示してある体重を超過している人がトレッドミルを使わないようにしてください。この要件に従わないと、保証が無効になります。
- ・清掃するには、せっけんと軽く温らせた布のみで表面をしっかりと拭いてください。溶剤は使用しないでください（「メントナシス」を参照）。
- ・器具の上に毛布や枕を置いて使用しないでください。器具が過熱し、火事やけがの原因となる場合があります。
- ・ベットや14歳未満のお子様をトレッドミルの3メートル以内に絶対に近づけないようにしてください。
- ・14歳未満のお子様は、トレッドミルを絶対に使用しないでください。
- ・14歳未満のお子様を本器具に近づけないようにしてください。

注意事項

本器具を使用する前に医師に相談してください。使用前に「取扱説明書」を一読してください。

・トレッドミルは温度と湿度が調整された屋内でのみ使用してください。トレッドミルが冷気や水氣にさらされたり、初回使用の前に本器具を室温まで戻すことを強くお勧めします。

組み立て

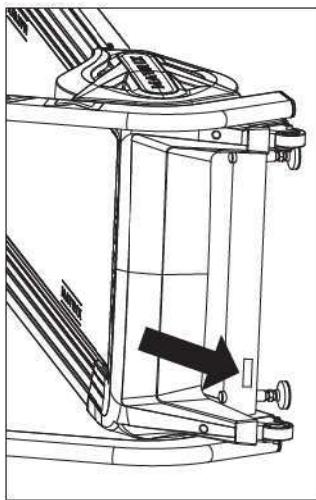
梱包を解く

本器具を使用する場所で梱包を開いてください。平らな場所に箱を置きます。床を保護するためカバーを敷くことをお勧めします。横向きのまままで箱を開けないでください。

重要な注意事項

各組み立て段階で、すべてのナットやボルトがはめ込まれ、部分的にねじ山が設けられていることを確認します。部品には、スマーズに組み立てや使用ができるよう、あらかじめ潤滑剤が塗られているものがあります。潤滑剤を拭き取らないでください。滑りが悪い場合は、リチウムグリースを軽く塗ることをお勧めします。

シリアルナンバー(製品番号)の位置



シリアルナンバー(製造番号)

モデル名 S-DRIVE PERFORMANCE TRAINER

*お問い合わせ時には上記情報をお知らせください。

警告

船
舟

組み立て時には、特別な注意が必要な工程があります。指示に従って正しく組み立て、すべての部品がしっかりと固定されているか確認することが非常に重要です。指示に従って正しく組み立てないと、部品が固定されず緩んで見えたり、不快な音をたてたりすることがあります。そのような場合は、本器具への損傷を防ぐため、組み立ての指示を再確認し修正策を講じる必要があります。

お問い合わせ

ご質問がある場合や足りない部品がある場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。
連絡先はインフォメーションカードに記載されています。

組み立てに必要な工具

- レンチ (8mm)
- 6角レンチ (5mm)
- 6角レンチ (6mm)
- プラスドライバー

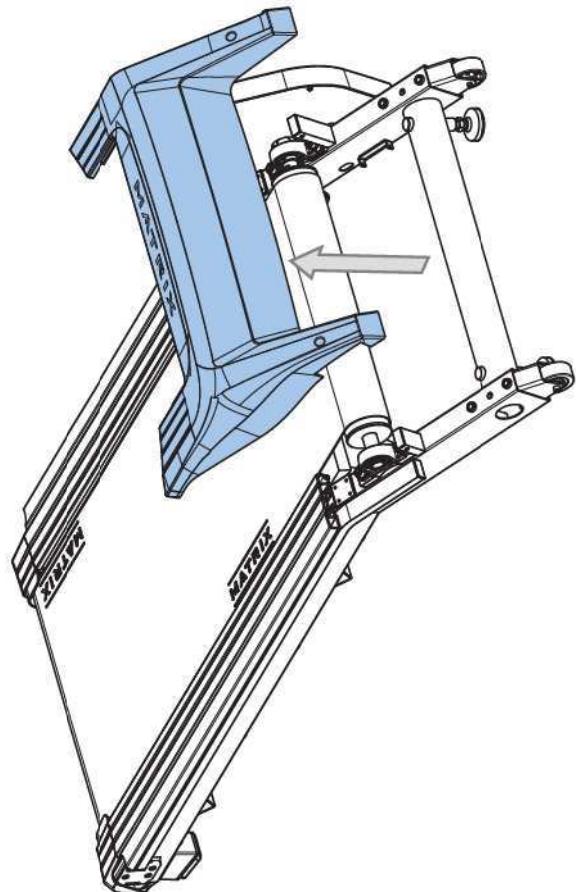
梱包部品

- ベースフレーム × 1
- 前面側ハンドルバー・サポート × 2
- 後面側ハンドルバー・サポート × 2
- スレッドバー × 1
- ハンドルバー・セット × 1
- セーフティーベルト × 1
- ハードウェアキット × 1



黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4

図 丹詰
注:モーターカバーを留めるネジはありません。



1



工具

2

黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4

黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4

黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4

黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4

黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4

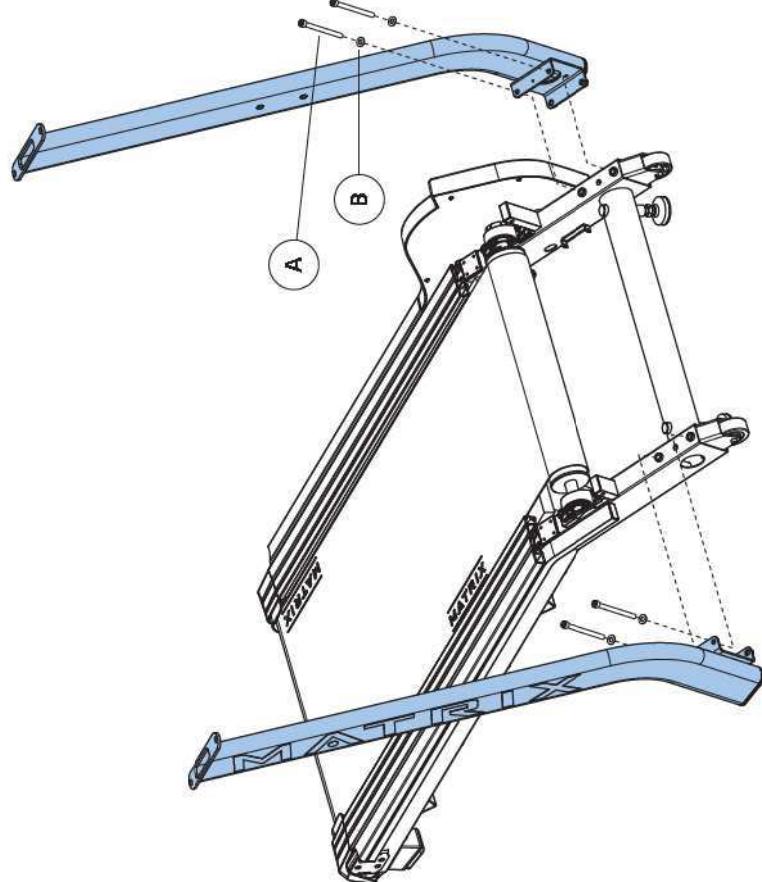
黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4

黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4

黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4

黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4

黒色のハードウェアバック(x2)	
説明	数
A ボルト	4
B フラットワッシャー	4





船井

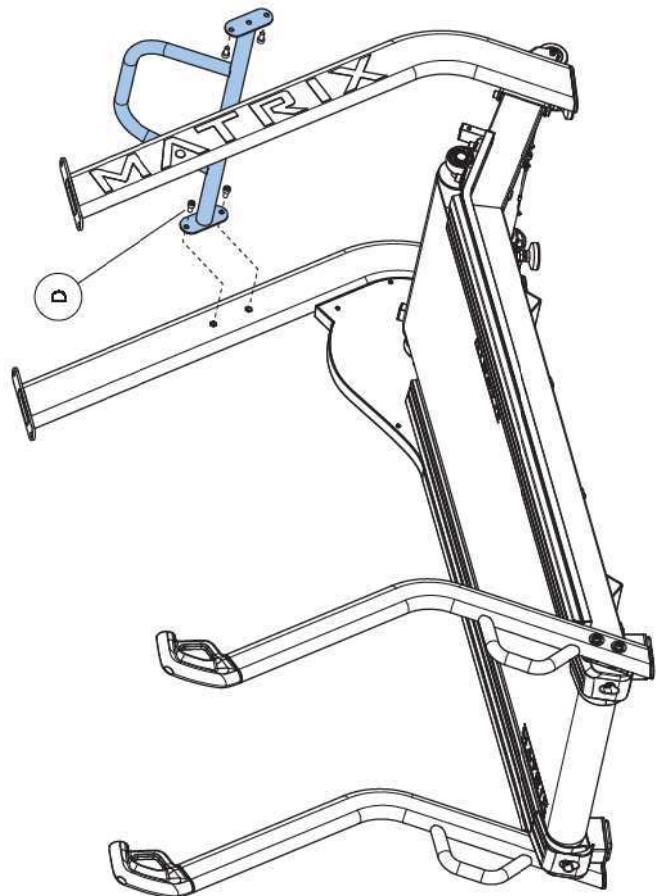
87

白色のハードウェアパック(x2)

説明	部品番号	数量
D ボルト		4

注:
手順5が終わるまでハードウェアは完全に締め付けないでください。
手順4トルク値
39.2Nm(28.9ft-lb)

4

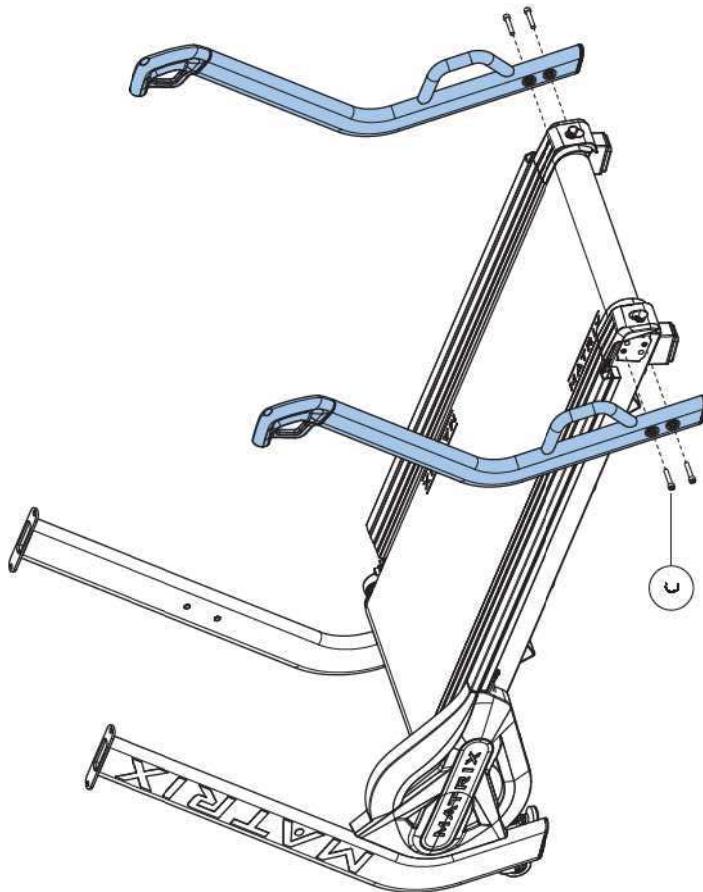


赤色のハードウェアパック(x2)

説明	部品番号	数量
C ボルト		4

注:
手順5が終わるまでハードウェアは完全に締め付けないでください。
手順3トルク値
78.4Nm(57.8ft-lb)

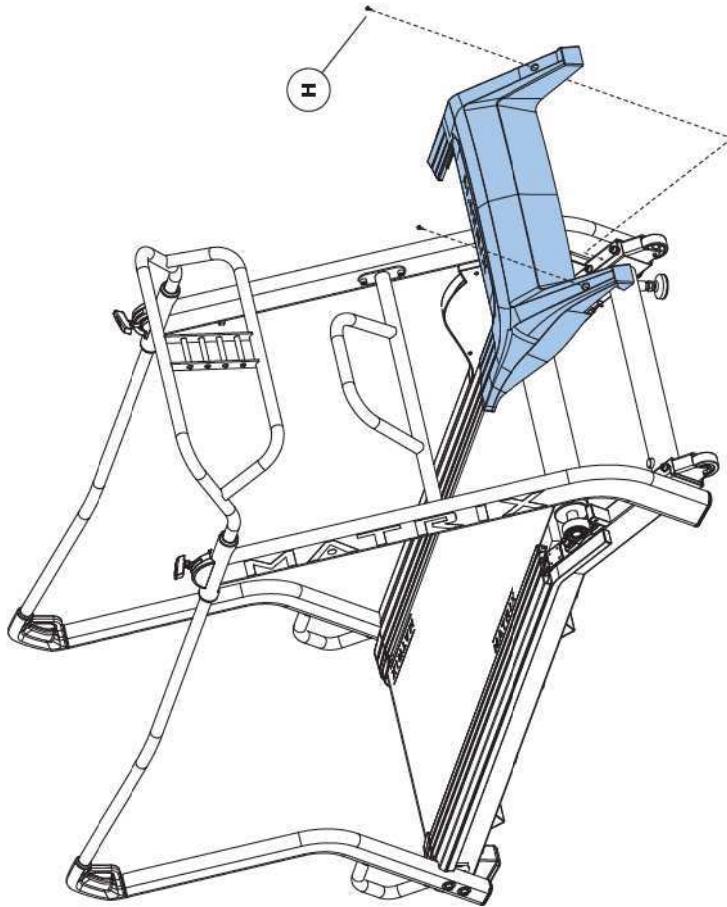
3



6

黄色のハードウェアバック

説明	数値
H ネジ	2



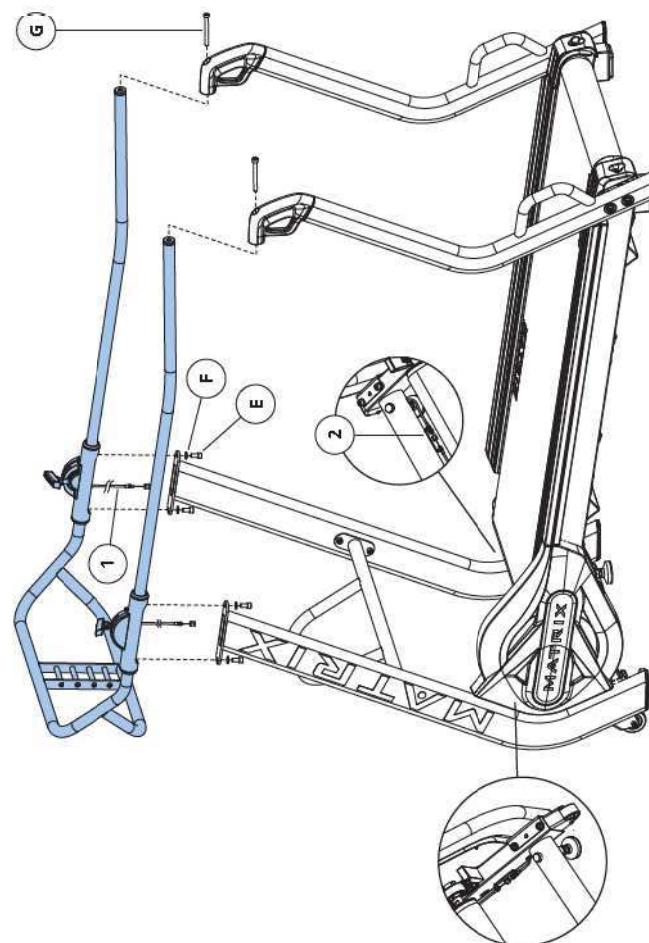
- A. 右ハンドルバーサポートの内部にあるツイストタイを使って右ハンドルバーサポートから注音深くケーブルを引き出し、メインフレームのコネクターケーブルに接続します。
- B. 左側も同様にします。
- C. 各手順で示されたトルク値に従って、手順2～5の金属部を完全に締め付けてください。

金属部の緑色バック(x2)	説明	数値
E ボルト	4	4
F フラットワッシャー	4	2
G ボルト	2	

注: 手順5トルク値:
39.2Nm/28.9ft-lb

5

工具



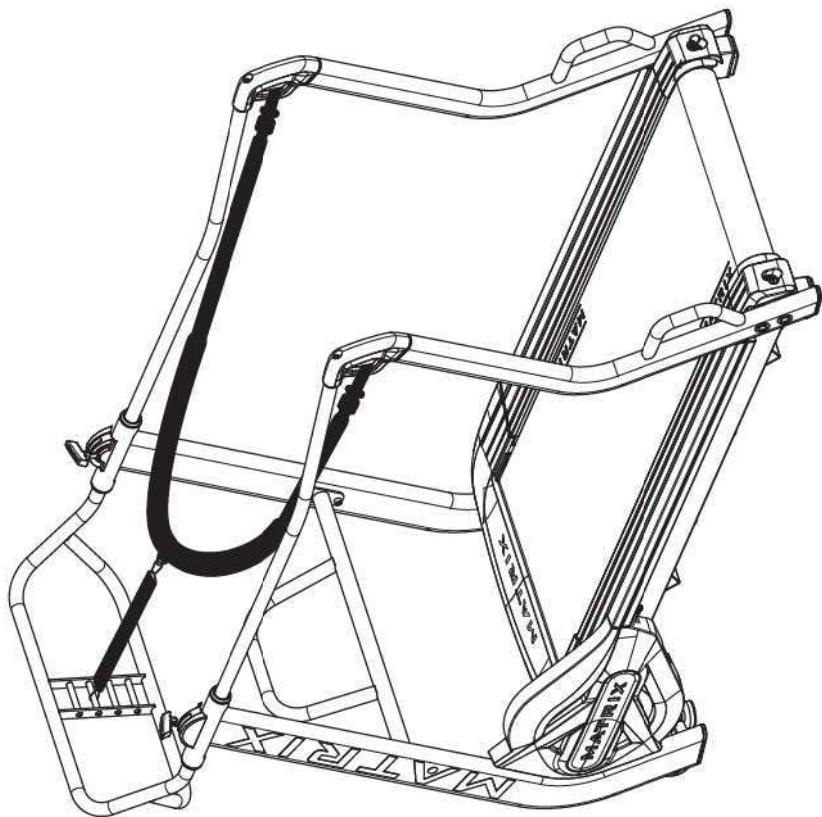


船中

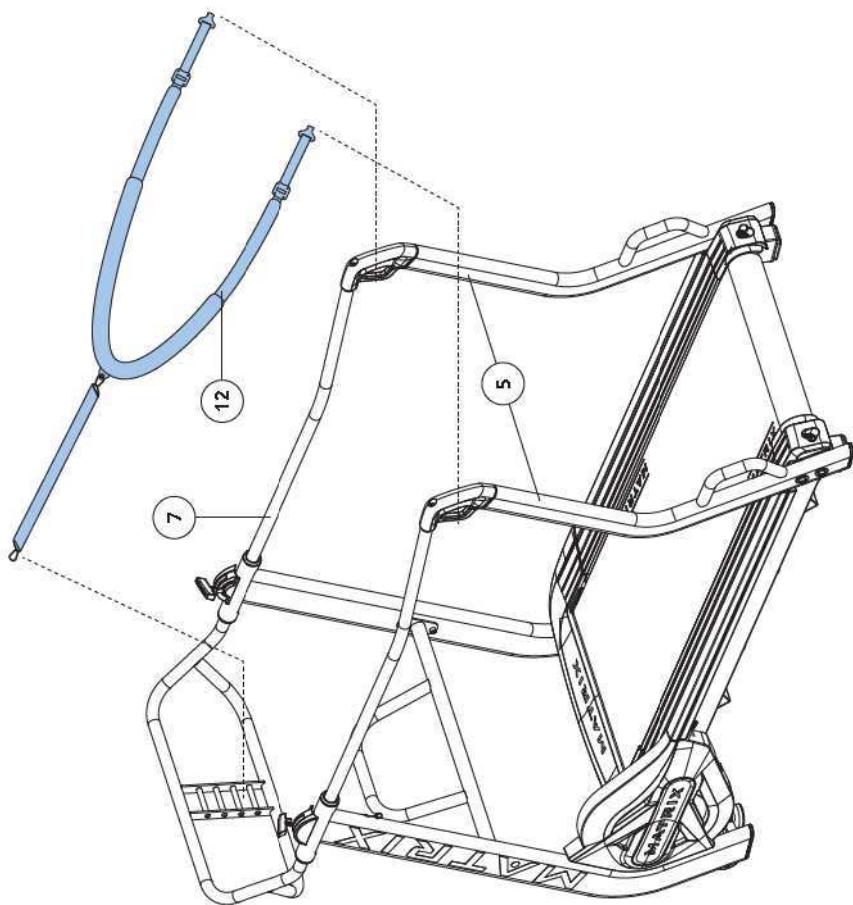
89

組み立て完了です。

注: 使用する前にすべての接合部分が堅く締められていることを確認してください。



8



7

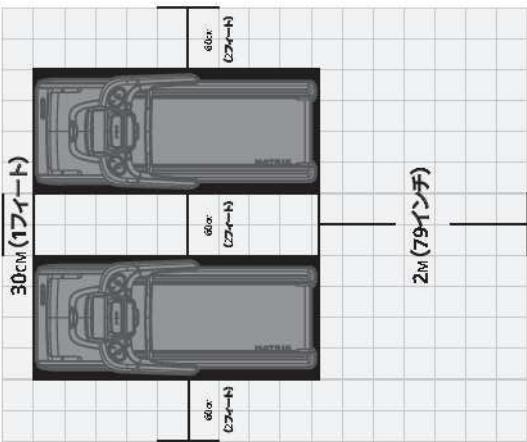
ご使用前の準備

トレッドミルの設置場所

直射日光が当たらず、平らで安定した床に設置してください。強い紫外線に当たるとプラスチック部分が変色することがあります。涼しく温度の低い場所に置いてください。トレッドミルの後面側には、少なくともトレッドミルの幅と同じが2メートル程度のスペースを確保してください。この部分には邪魔になるものを置かず、専用者が器具から安全に降りられるためのスペースとします。専用者が側面からも器具に乗ることができるよう、トレッドミルの両側に少なくとも50センチのスペースを確保してください。

警告

トレッドミルはかなりの重量があります。けがや器具の破損を避けるために、動かすときに手を必要に応じて注意を払い他の人に手伝ってもらってきてください。



ランニングベルトの張りおよびセンタリング調節

使用する場所にトレッドミルを設置したら、ベルトの張りとセンタリング調節が適切かどうかを確認する必要があります。初回使用から2時間後にベルトの伸縮調整が必要になる場合があります。必ず温、湿度、温度を測定し、専用者が器具に乗れる状態が変わったときです。

1. トレッドミルの後面側に六角ボルトが2つあります。前面側のフレームの両端に1つずつあります。これにより片面が空回りします。後に指示に従って調節してください。

2. ベルトはフレームの両端から等しい位置に調節してください。これにより片面が張りすぎます。手動でベルトを中止部に寄せ、サイドレールと平行になるようにします。ベルトをおよそ1回転させ、緩めたときと同じ程度にボルトを締めます。ベルトに損傷がないか調べます。

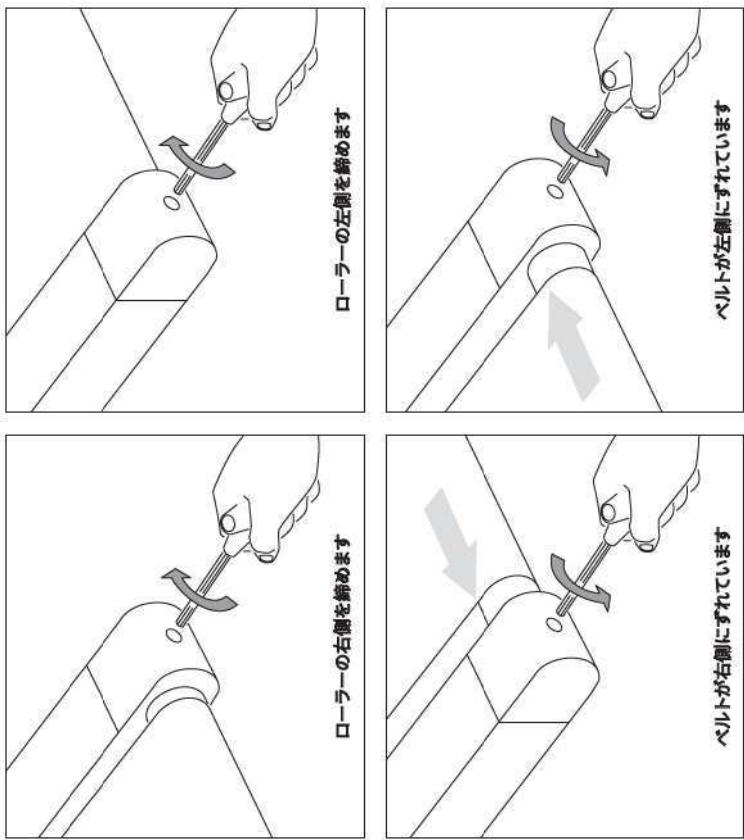
3. トレッドミルの上を3~5km/hで歩き、ベルトの位置を確認します。右に動いていれば、右のボルトを時計回りに1/4回転させて締めます。左に動いていれば、左のボルトを1/4回転させて緩めます。ベルトが中心部に数分間留まるようになります。ステップ3を繰り返します。

4. ベルトの張りを確認します。ベルトはしっかりと張つてください。トレッドミルの上を歩いたり走ったりするときに、抵抗や滑る感覚がないようにしてください。このような状況があれば、ベルトをしっかりと張るよう、両端のボルトを時計回りに1/4回転させます。必要に応じて繰り返します。

注：フロントカバーを使つて、図のようにベルトがセンタリング調節されていることを確認してください。ベルトの端がカバーと平行になるよう調節する必要があります。

注意事項

センタリング調節中は5km/hより速く走らないでください。指、髪、服がベルトに巻き込まれないよう常に気をつけください。





水平に調節

本器具を適切に作動させるには、水平調節がきちんと行われていることが非常に大切です。トレッドミルが傾いていると、ペリートのすれやその他の不具合の原因になる恐れがあります。本体裏面のレバーで調節することをお勧めします。

使用する場所にトレッドミルを設置したら、フレームの前裏にあるレバーを片方または両方上げ下げすることにより調節します。

正しい使い方

トレッドミルにはスレッドモードとウォーク/プリントモードの2つのモードがあります。スレッドモードで使うには、安全キーを外して上スレッドハンドルバーで握ることができます。歩行挨拶モードで使うには、セーフティーベルトを接続し、下部の指示に従って脚筋してください。

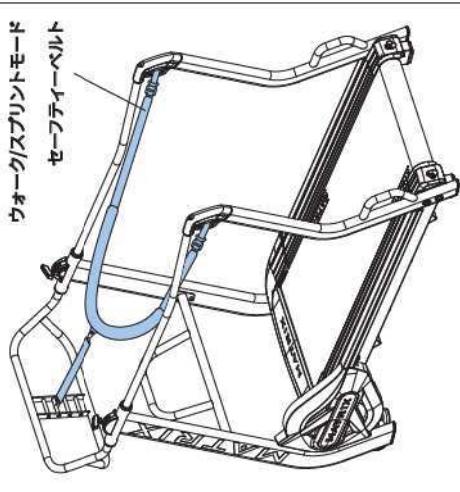
緊急でペリートから降りるには、正面または側面のハンドルバーを握み、両足でサイドレールの上に乗ってください。



セーフティーベルトの調節

トレッドミルに上がり、適切な高さかどうかを確かめるためセーフティーベルトを装着してゆっくり歩きます。セーフティーベルトはウエストの高さ程度で無理なく装着できなければなりません。

セーフティーベルトを調節する必要があれば、正面の接続点から離し正しい高さになるよう接続し直します。

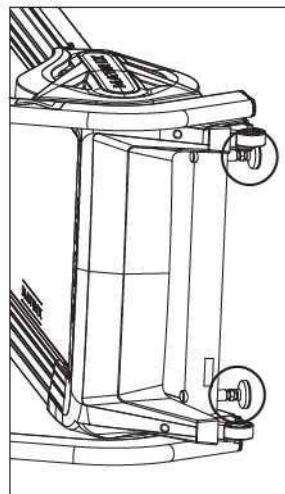
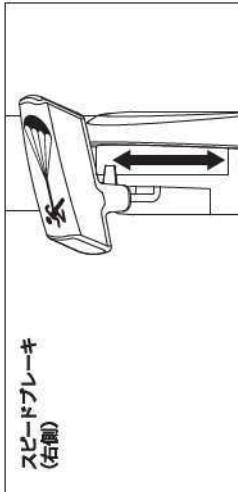


ブレーキの調節

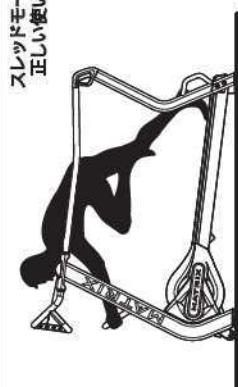
このトレッドミルにはスレッドブレーキとスピードブレーキがあります。左側のレバーはスレッドブレーキを制御し、右側のレバーはスピードブレーキを制御します。左側のブレーキには8段階のスピードブレーキには11段階の負荷設定があります。各ブレーキは同時に使う場合と別々に使う場合があります。

スレッドブレーキはソリを押すときに感じる抵抗を作り出します。スピードブレーキを使うと、ペリトに瞬時に抵抗がかかります。

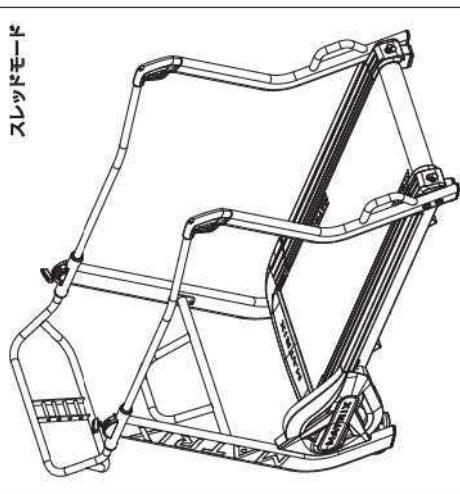
スピードブレーキはパラシュートを使って走るときの抵抗を作り出します。スピードブレーキを使うと、走るスピードが速くなるほど抵抗力が強くなります。



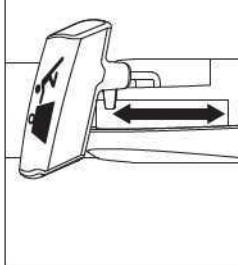
スピードモード 正しい使い方



スピードモード



スピードブレーキ (左側)



メンテナンス



1. 資格のある修理工師以外は、部品の撤去や交換を行わないでください。
2. 器具が故障している場合や、部品が摩耗・破損している場合は決して使用しないでください。交換部品は必ずMatrix純正品のものをお使いください。
3. ラベルとネームプレートの保持：ラベルは決して剥がさないでください。重要事項が記載しております。
4. 紛失したり、読みにくくなったりした場合は、カスタマーマーサー（ビス）に連絡して交換を依頼してください。
5. 抑えるためには定期的に点検する必要があります。器具は定期的に点検する必要があります。
6. 調整、メンテナンス、修理は必ず当該作業を行う資格のある担当者が実施してください。
7. ご希望に応じて、Matrixの社内施設で点検とメンテナンス研修を実施します。

保証

北米にお住まいの方は、保証の免責と限度を含む保証に関する情報をwww.matrixfitness.comにアクセスしてください。

アクション	頻度
本体全体をほど低刺激のせっけんあるいはMatrixが承認した洗剤で清掃します（洗浄剤はアルコールおよびアンモニアを含まないもの）。	毎日
安全キーが消耗していないか接続はしっかりとしているか確認します。	毎日
フロントカバーを取り除きます（ほこり等がないか確認し、乾いた布で拭くか小型掃除機で清掃します）。	毎月
トレッドミルのランニングテックに潤滑剤を塗布します。	3か月に1度



製品仕様

最大使用者重量	181.4kg (400ポンド)
本体重量	141.2kg (312ポンド)
梱包時重量	158.2kg (349ポンド)
本体寸法 (LxWxH)*	193x88x150cm / 76x34.6x59インチ
セーフティーベルトの最大負荷	136kg (300ポンド)

* 本機を使用する際は必ず通路を確保するため最低60cmのスペースを周囲に設けてください。ADA(障害を持つアメリカ人法)では、車いす利用者のために91cmのスペースを設けておくことを推奨しています。

1. レンチまたは六角レンチを使い、後部ローラーボルトを10～15回反時計回りに回転させて緩めます。ベルトを持ち上げ、ランニングテックの表面全体にシリコンオイルをシグザグを描くように塗ります。100%シリコンオイルを1/2ボトル使用します。ランニングベルトの両面にはシリコンオイルを塗らないでください。ランニングベルトを降ろし、ローラーの両方のボルトを緩めたときと同じ回数分時計回りに回転させて締めます。
2. できるだけ高くベルトを持ち上げ、ランニングテックの表面全体にシリコンオイルをシグザグを描くように塗ります。100%シリコンオイルを1/2ボトル使用します。ランニングベルトを降ろし、ローラーの両方のボルトを緩めたときと同じ回数分時計回りに回転させて締めます。
3. トレッドミルの上を3分ほど適度なスピードで歩き、シリコンオイルをのぼし、ベルトが適切な張りと位置であるかどうか確認します。
4. 温らせた布で側面から過剰なオイルを拭き取ります。